

春野中学校南舎トイレ改修機械設備工事

完 成 図

自：令和5年 6月1日～至：令和5年10月31日

春野中学校南舎トイレ改修機械設備工事				特記仕様書		項 目		特 記 事 項		項 目		特 記 事 項											
Ⅰ 工 事 概 要																							
1. 工事場所 高知市春野町西分328番地																							
2. 建物概要																							
建物名称		構造	階数	建築基準法に基づく 延べ面積		主要用途		消防法施行令 別表第一		都市計画法に基づく 用途地域		備考											
春野中学校		RC造	3階	4,888㎡		学校																	
3. 工事種目																							
春野中学校		換気設備		一式	排水設備		一式																
		衛生器具設備		一式	撤去工事		一式																
		給水設備		一式	発生材処理		一式																
4. 別契約関連工事																							
○ 建築工事 ○ 電気設備工事 ・ 衛生設備工事 ・ 空調設備工事 ・ 植栽工事 ・ 外構工事 ・ 解体工事																							
5. 概成工期																							
・ 完成期限の（ ）日前（ 令和 年 月 日 ）																							
6. 部分使用（工事請負契約書第34条第1項）																							
○ 1～3階のトイレ及び新設室は工事完了後、部分使用する。																							
Ⅱ 設 備 工 事 仕 様																							
1. 特記仕様																							
1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。																							
2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。○印と※印の付いた場合は、共に適用する。																							
3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、「公共建築工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。																							
4) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、「公共建築改修工事標準仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。																							
5) 特記事項に記載の〈 〉内表示番号は、「建築物解体工事共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。																							
2. 適用基準等																							
図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修の以下による。																							
※ 公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31年版						※ 公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）平成31年版																	
※ 公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編）平成31年版						※ 公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）平成31年版																	
※ 公共建築設備工事標準図（機械設備工事編）平成31年版						※ 公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）平成31年版																	
※ 建築物解体工事共通仕様書 平成31年版																							
給水外線工事については、高知市水道局発行の「給水装置工事施工要領」による。																							
項 目						特 記 事 項																	
一般共通事項																							
①官公署その他への手続き						工事の着手・施工・完成に当たり、関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続き等を遅滞なく行う。 手続き等の費用は受注者の負担とするが、以下の費用については発注者が負担する。 給水装置新設分担金						(1.1.3) [1.1.3]											
②工事実績情報の登録 (請負金額500万円以上) (受注、変更、完成時)						登録の手続きについては、（一財）日本建設情報総合センターの「建築実績情報のコリンズ・テクリス登録に関する規約」による。 (受注、変更、完成時)						(1.1.4) [1.1.4]											
③書類の書式等						工事の着手に当たり、監督職員立会の下で設計図書等の照査及び施工監理資料作成の打合せを行い記録を整備する。 施工監理資料の内容及び水準は、監督職員が示す「施工監理資料一覧」による。						(1.1.5) [1.1.5]											
④総合工程表						原則、工事の着手に先立ち、別契約関連工事の受注者と協議し、受注者及び別契約関連工事の受注者連名による総合工程表を監督職員に提出する。						(1.2.1) [1.2.1]											
⑤総合図						工事の施工に先立ち別途契約関連工事の受注者と調整のうえ、総合図を作成し、監督職員の承諾を受ける。						(1.2.3) [1.2.3]											
⑥施工図等の取扱い						施工図等の内、監督職員の承諾を要するものについては、施工監理資料作成の打合せ時に協議する。 施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。						(1.2.3) [1.2.3]											
⑦工事日誌						週ごとに工事の全般的な経過及び次の工事予定を記載した日誌を監督職員に提出する。 また、半月ごとに出来高を当初計画と共に記入し、月末には実施工程表を添付する。 電子印鑑の使用及び電子メールによる提出も可とする。						(1.2.4) [1.2.4]											
⑧工事写真						工事写真はL版とし、工事の内容、日付等必要事項を記入し1部提出する。（A4版台紙） 撮影方法は、国土交通省大臣官庁官庁営繕部監修「工事写真の撮り方（建築設備編）（改訂第3版）」による。 デジタル工事写真の黒小板情報電子化の実施をする場合は、監督職員の承諾を受ける。なお、実施については、国技建管第10号（平成29年1月30日付）「デジタル工事写真の黒小板情報電子化について」による。						(1.2.4) [1.2.4]											
⑨下請負者の報告						各下請負者については、下請負契約前に「下請施工予定報告書」にて監督職員に報告する。																	
10電気保安技術者						適用する						(1.3.2) [1.3.2]											
⑪施工条件						施工日及び施工時間 ※ (1.3.3)、[1.3.3] (1)による。 工事用車両の駐車場所及び資機材の置場所 ※ 仮囲い 図示 その他の施工条件 ○ 現場着手は、令和5年7月21日からとする。ただし現地調査は除く。 ○ トイレ改修の材料搬入又は、原則トイレの外壁側開口部から行うこと。 ○ 資機材の搬入出時には、専任の誘導員を配置する。その他の場合でも、工事関係車両（乗用車も含む）が敷地内を通行する際には必ず誘導するものをつけ、公道まで徐行する。 ○ 施設を利用しながらの工事となるので、作業時間・内容・大きな騒音又は振動を伴う作業については施設管理者と協議すること。 ○ 解体等の大きな騒音を伴う作業については、令和5年8月28日までに完了させること。 工事請負契約後、速やかに工事目的物、工事材料等に生じる損害、第三者に及ぼした損害を補償する保険を締結する。 保険期間は、工事着工のときから完成期限より24日後以降までの期間とする。																	
⑬契約保証						※ 金銭的保証方式 ・ 有 ○ 無																	
14前払金支出割合区分補正																							
15交通誘導警備員						交通誘導警備員を配置する場合は、原則として警備業法（昭和47年法律第117号）第4条による認定を受けた警備業者の警備員を配置することとし、建設作業員等の他職種の者を従事させないこととする。ただし、一時的な作業等で、安全確保に対処できると監督職員が認めたものについては、この限りでないものとする。																	

項目

機械設備特記事項

① 標識その他

※ 配管表記
(1.1.7.4準拠) [1.1.8.5準拠]
a) 機械室・ビット・P S内・天井点検口・配管分岐場所には必ず表記する。
b) 表記内容は、流体・サイズ・系統名とし、場所・向き・文字サイズ等事前協議決定後に施工する。
c) 配管の識別は、原則としてJ I S Z 9 1 0 2によるものとし、識別方法・色合いは監督職員の指示による。
※ 機器表記 (該当する主要機器は事前に確認する。)
a) 設計記号の付いている主要機器には、カッティングシート等にて表記 (管理番号・室名・設置年月等) を行う。
b) パッケージエアコン等の空調機は、室内機だけでなく室外機にも表記を行う。
c) 水中に設置する各種主要機器類は銘板 (製造社名・製造年月・型番・性能等) を壁付近にも設ける。
※ 弁には、開閉等を記入した亚克力札を取付け、風で飛んだり騒音を立てないように固定するか、表示方法を協議する。
※ 埋設弁ボックスには、内部に系統名・管サイズ・設置年月を書いた亚克力札を入れる。
※ 埋設弁ボックスの蓋は、流体の行き先側に蓋の付根を向ける。
※ 排水以外の屋外埋設管には、曲がり・分岐部・その他埋設管の位置が確認できるように地中埋設標を設ける。
※ 排水以外の屋外埋設管の埋戻し時には、G L－1 5 0 mm程度に埋設表示用アルミテープを埋設する。

本工事に該当する工事項目に応じて、下記項目の総合調整を行い、計画書及び報告書を監督職員に提出する。
a) 風量調整
b) 水量・水圧調整
c) 室内外空気の温度の測定
d) 騒音の測定
e) 室内気流及びじんあいの測定
f) 飲料水の水質の測定
なお、季節により運転条件が異なる、使用開始から定常状態に入るまでに時間を要する等の理由により、工期内の測定完了が不可能な調整項目の対応については、監督職員との協議による。
(2.1.3.3準拠) [2.1.3.3準拠]

③ 配管材料

配管の種類						
場所	屋内露出	天井P S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備 考
給 水	(3)	(3)	(4)			土間下埋設部は(17)
排水・通気	(23)	(14)	(16)			(16):125A以上VU
給 湯						
消 火						
ガ ス						
冷 媒						
機器ドレン						(16):125A以上VU
冷 温 水						
冷 却 水						

(1) 配管用炭素鋼管 (SGP黒管・JIS G 3452)
(2) 配管用炭素鋼管 (SGP白管・JIS G 3452)
(3) 水道用硬質塩化ビニル管 (SGP-VB・JWWA K 116)
(4) 水道用硬質塩化ビニル管*鋼管 (SGP-VD・JWWA K 116)
(5) 水道用耐熱性硬質塩化ビニル管*鋼管 (SGP-HVA・JWWA K 140)
(6) 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (SGP-VS・WSP 041)
(7) 排水用硬質塩化ビニル管 (D-VA・WSP 042)
(8) 耐熱性硬質塩化ビニル管 (SGP-HVD)
(9) 配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TP-A・JIS G 3459)
(10) 一般配管用ステンレス鋼管 (SUS 304 TPD・JIS G 3448)
(11) 断熱材被覆鋼管 (JCDA 0009)
(12) 水道用架橋*リフレソニ管 (JIS K 6787)

(13) 水道用*リフレソニ層管 (JIS K 6762)
(14) 耐火二層管 (内管VP)
(15) 硬質*リ塩化ビニル管 (VP・JIS K 6742)
(16) 硬質*リ塩化ビニル管 (VP-VU・JIS K 6741)
(17) 耐衝撃性硬質*リ塩化ビニル管 (HIVP・JIS K 6742)
(18) 耐熱性硬質*リ塩化ビニル管 (HT・JIS K 6776)
(19) 水道配用水*リフレソニ管 (JWWA K 144)
・ 建築設備用高密度*リフレソニ管
(20) 消火用*リフレソニ管
(21) *ス用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管
(22) *ス用*リフレソニ管 (JIS K 6774)
(23) 硬質*リ塩化ビニル*管 (JIS K 6741)
(24) 保温材付空調用ドレン管 (JIS C 8430準拠・JIS K 6741)

設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。
(2.2.1.2準拠) [2.2.1.1準拠]

④ 配管付属品

弁の使用区分					
系統名	弁名称	寸法区分	規格	耐 圧	
給 水	ボール弁	5 0 A以下	青銅・管端防食	・ 5 K ※ 1 0 K ・ 1 6 K ・ 2 0 K	
	バタフライ弁	6 5 A以上	ライニング	・ 5 K ※ 1 0 K ・ 1 6 K ・ 2 0 K	
給 湯	ボール弁	5 0 A以下	青銅・管端防食	・ 5 K ※ 1 0 K ・ 1 6 K ・ 2 0 K	
	バタフライ弁	6 5 A以上	S U S	・ 5 K ※ 1 0 K ・ 1 6 K ・ 2 0 K	
冷 温 水	玉形弁	5 0 A以下	青銅・管端防食	・ 5 K ※ 1 0 K ・ 1 6 K ・ 2 0 K	
	バタフライ弁	6 5 A以上	ライニング	・ 5 K ※ 1 0 K ・ 1 6 K ・ 2 0 K	

設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。
(2.2.2.1準拠) [2.2.1.1準拠]

5 スリーブ

国土交通省仕様とする。ただし、水密を要する部分は配管用ステンレス鋼管及び水膨張性ゴムリングを用いる。
(2.2.2.27準拠)

⑥ 支持材料

※ 1階土間コンクリート下部配管は、ステンレス製吊りボルトにてスラブ筋に支持する。
※ 屋外及びビット内配管の支持金物・形鋼振止め金物・吊り金物・インサート金物・アンカーボルトはステンレス製とする。
※ 形鋼振止め支持部材の選定は、公共建築設備工事標準図 (機械設備工事編) に準ずるものとし、既製品は使用しない。
※ 冷媒管の吊り用支持受け材として、断熱材被覆鋼管と吊り金物との間に保護プレートを設置ける。

7 さや管工法

さや管ヘッダー工法で施工する場合、さや管施工後に配管挿入を行い、同時施工としない。

8 変位吸収配管施工

※ 建築物導入部及びエクスパンションジョイント部は、フレキシブルジョイント等を使用した方法で施工する。
※ 埋設管の屋内外接続部では、地盤沈下等の変位に対して可とう継手、伸縮可とう継手などを設ける等の措置を講じる。
設計図面に個別の記載がない場合は、伸縮継手、自在継手を使用してもよい。
※ 埋設管と露出配管の切替部 (配管立ち上がり部) に伸縮継手を設ける。
[給水装置工事施工要領準拠] [下水道排水設備指針と解説準拠]

⑨ フランジ接合

※ 屋外及びビット内のフランジ接合材は、ステンレス製とし焼付防止処理を施す。
※ 異種管のフランジ接合は、絶縁スリーブ、絶縁ワッシャー等による絶縁フランジ接合とする。

10 融着接合

ポリエチレン管融着接合作業における技能者は、十分な経験と技能を有するものとする。

項目

特記事項

⑪ メカニカル継手
※ メカニカル継手は伸縮可とう・離脱防止性能を有し、内外面エポキシ粉体塗装を施したものとする。
※ 改修工事等で銅管類 (ライニング銅管) を切断して、やむを得ずメカニカル継手を使用する場合には、切断部の防錆処理として、J A W W K 1 3 5規格適合品にて処置する。
※ 原則として下図に従う。詳細は国土交通省仕様による。
(2.2.6.3準拠) [2.2.4.3準拠]

横走り管の吊り及び振れ止め最大支持間隔													
分類	呼び径												
	15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250
吊り金物による吊り	鋼管等	2.0m				3.0m							
	ビニル管等	1.0m				2.0m							
形鋼振れ止め支持	鋼管等	—				8.0m				12m			
	ビニル管等	—		6.0m		8.0m				12m			

立て管の固定及び振れ止め箇所

固定	鋼管等	最下階の床又は最上階の床
形鋼振れ止め支持	鋼管等	各階1箇所
	ビニル管等	各階1箇所

※ 国土交通省仕様とどりに吊り配管等を施工しても、他の資材配管等と干渉する場合は振止めを適宜設ける。
※ 屋外等で吊り金物による施工ができない場合には、プラケット等にて配管及び配管付属品を支持し、配管荷重による管の移動を抑える。
※ 契約量水器までの埋設給水管及び埋設ガス管は管の周囲1 0 0 mm程度に保護砂を入れる。
※ 契約量水器以降の埋設給水管及び埋設消火管は簡易保温筒で巻く。
※ 排水管は管が移動しないように中心程度まで埋戻す。ただし、土圧及び上載荷重が管きよの耐荷重を超える場合は、遮断用砂で巻立て、外圧に対して管きよを保護する。
(2.2.7.1準拠) [2.2.5.1準拠] [下水道排水設備指針と解説]
管の地中埋設深さは、原則として車両道路では管の上端より6 0 0 mm以上、それ以外では3 0 0 mm以上とする。ただし、寒冷地では凍結深度以上とする。
(2.2.7.2) [2.2.5.2]
※ 銅管、鉛管のコンクリート内配管にはプラスチックテープ1 1 2重ね1 回巻きとする。
(2.2.7.3準拠) [2.2.5.3準拠]
※ 地中に埋設する鋼鉄管・鉄鉄異形管・メカニカル継手・特殊継手類にはポリエチレンスリーブ等の被覆を講じること。
[給水装置工事施工要領]

保温の種類							
場所	屋内露出	機械室・倉庫	天井・P S内	床下暗渠内	屋外露出	屋外埋設	備 考
給 水	a (a) VII	b (d) VII	c2 (d) VII	d (h) VII			
排 水							屋内空調用ドレン管は保温材付き
給 湯							
冷 媒 管							断熱材被覆鋼管の場合
矩形ダクト							
丸形ダクト			N (a) X I				
弁・継手類			c2 (d)				保温材の厚さは各工種に準拠

(イ) ロックウール保温材 (ロ) グラスウール保温材 (h) ポリスチレンフォーム保温材
(ニ) 簡易保温筒1 0 mm (キ) 簡易保温筒2 0 mm (h) 簡易耐熱保温筒1 0 mm (ト) 簡易耐熱保温筒2 0 mm
設計図面に個別の記載があるものについてはこれによらない。
(2.3.1.1準拠) [2.3.1.1準拠]

重鉛鍍金面の塗装下地は化学処理 (エッチングプライマ) を施す。
(2.3.2.1) [2.3.2.1]

既存のコンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。
[2.4.1.3]
はつり、穴開け及びあと施工アンカー等の施工にあたり、埋設物の事前調査を行う。施工場所を鉄筋探査器により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
[2.4.1.1]
新當工事においては、原則としてあと施工アンカーは使用しない。
[2.5.1.3]
使用する場合には、工事の着手に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承諾を受ける。あと施工アンカー作業における技能者は、あと施工アンカー工事の施工に関する十分な経験と技能を有するものとする。
機器仕様
a) グリーン購入調達基準適合品とし、各メーカーの最高効率機種とする。
b) 室外機仕様
・ J R A耐重塩害仕様 ・ 耐塩害仕様 ・ 防振架台 ・ 転倒防止金物 ・ 高調波対策仕様
c) 室内機仕様
・ ドレンアップメカ ・ 自動昇降パネル ・ 防振装置 ・ 振止め金物 ・
工事仕様
a) ドレンアップメカにより排水する場合は、機器直近にて鳥居状に配管し、立下り部直上に掃除口を設ける。
b) 配管化粧カバーは、エンドキャップを使用しテープ巻きの範囲を最小限とし、ジャバラ部材は使用しない。
c) 配管化粧カバー・配管ラッキングは室外機の直近まで施す。
d) 室内機及び室外機への電源送りは電気設備工事とし、室外機間の渡り電気配線及び室外機-室内機間の電気配線 (アース含む) は配管、配線共本工事とする。渡り配線で、冷媒配管と同じルートを施工する場所は同配管外装内に納める。

空調ダクト材料
※ 亜鉛鉄板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U) ・ ステンレス製 ・
※ 気ダクト材料
※ 亜鉛鉄板製 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U) ・ ステンレス製 ・
屋外フード
ウェザーカバーはステンレス製・給排気形・水切り付きとし、ベンドキャップはステンレス製・深型・水切り付きとする。
原則として、排気用には防鳥網、給気用には防虫網を設ける。

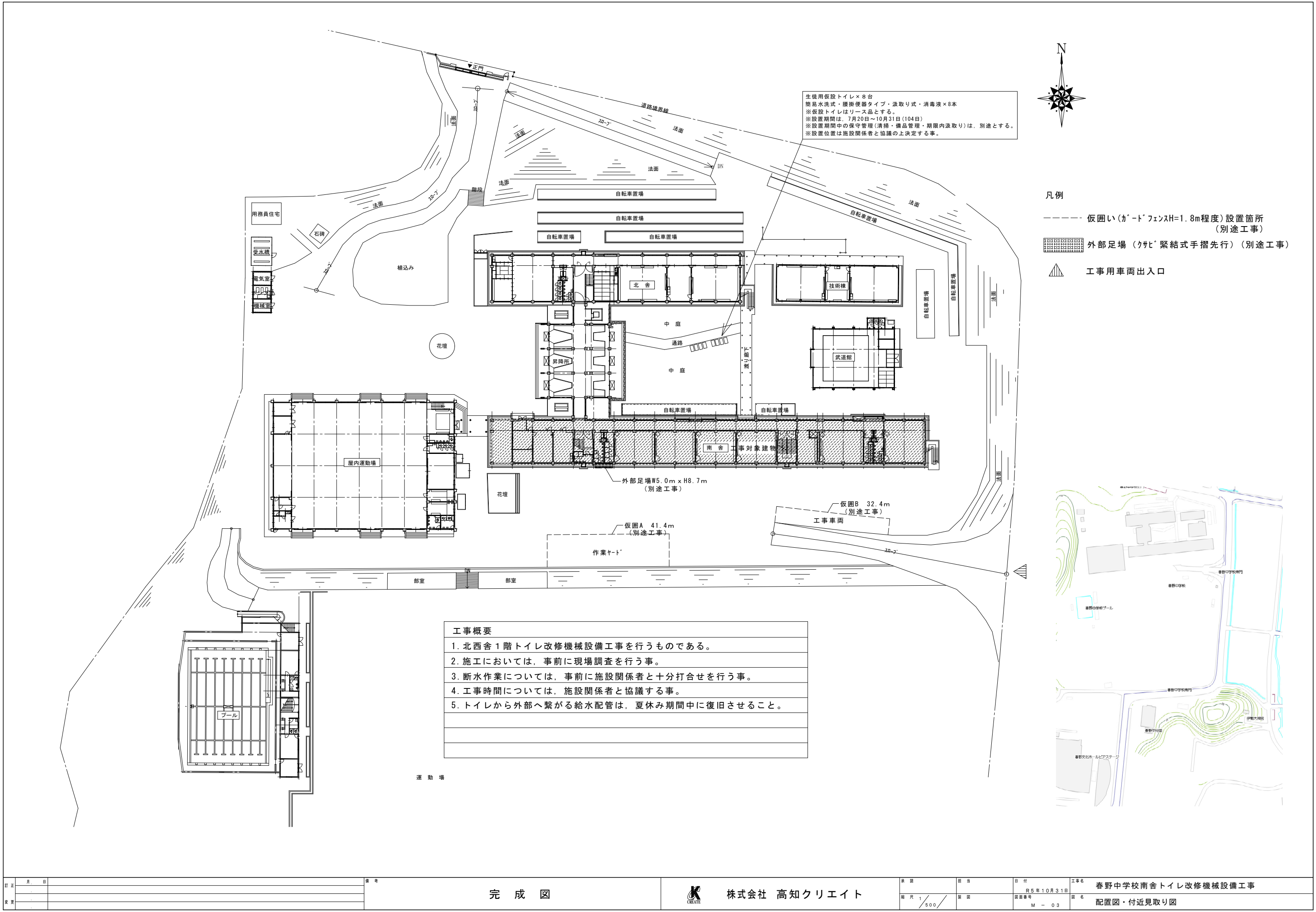
・ 浄化槽の使用開始後概ね3ヶ月間の試運転調整を行う。浄化槽法による「保守点検及び清掃等」のほか下記的事项による。
a) 最低限の点検回数は、小型・沈殿分離方式は月に1回、流量調整槽のある場合は2週に1回とする。

項目

特記事項

24 構
25 防振施工
26 転倒・落下・傾き防止
27 特定天井への対応
28 耐震施工

設備機器の固定等は、国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の「建築設備耐震設計・施工指針 (2 0 1 4年版)」及び建設大臣官庁



生使用仮設トイレ×8台
簡易水洗式・腰掛便器タイプ・汲取り式・消毒液×8本
※仮設トイレはリース品とする。
※設置期間は、7月20日～10月31日(104日)
※設置期間中の保守管理(清掃・備品管理・期限内汲取り)は、別途とする。
※設置位置は施設関係者と協議の上決定する事。



- 凡例
- 仮囲い(ガード・フェンスH=1.8m程度)設置箇所 (別途工事)
 - 外部足場(クサビ・緊結式手摺先行) (別途工事)
 - 工事車両出入口

工事概要
1. 北西舎1階トイレ改修機械設備工事を行うものである。
2. 施工においては、事前に現場調査を行う事。
3. 断水作業については、事前に施設関係者と十分打合せを行う事。
4. 工事時間については、施設関係者と協議する事。
5. トイレから外部へ繋がる給水配管は、夏休み期間中に復旧させること。



衛生器具リスト

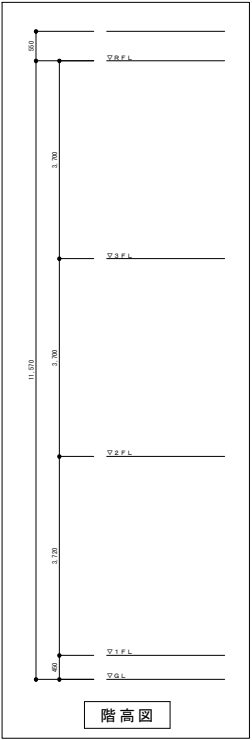
項 目	仕 様	1 階職員		1 階西側		2 階西側		3 階西側		1 階東側	
		男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子
洋風便器 （床給水）	TOTO：CS494 【HP430-7, TV565CP, T56PH×2, T82CR32, TS153S】	1	1	2	3	2	3	2	3	2	1
	TOTO：CS494M 【リモデル】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
前丸便座（便蓋無）	TOTO：TC291J	-	-	2	3	2	3	2	3	2	2
洗浄便座	TOTO：TCF588Y	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
紙巻器	TOTO：YH117	1	1	2	3	2	3	2	3	2	2
小便器	TOTO：UFH500 【T9R, TG600PN, HP500】	1	-	5	-	5	-	5	-	4	-
掃除流し	TOTO：SK322 【T9R, T37SGEP, TK22, T23BQ13】	-	-	1	-	1	-	1	-	-	1
カウンター洗面器	TOTO：MK45L990 【TLC11AR×1, M357W×1, TLC4BF×1, M9P40A×2】	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
カウンター洗面器	TOTO：MK50C1300 【TLC11AR×2, M357W×2, TLC4BF×2, M9P40A×3】	-	-	-	-	1	1	1	1	-	-
	TOTO：MC50C1280 【TLC11AR×2, M357W×2, TLC4BF×2, M9P40A×3】	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
カウンター洗面器	TOTO：MK50C1350 【TLC11AR×2, M357W×2, TLC4BF×2, M9P40A×3】	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
カウンター洗面器	TOTO：MK45L850 【TLC11AR×1, M357W×1, TLC4BF×1, M9P40A×2】	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
コンパクト手洗器	TOTO：LSL870BSM	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
L型手すり	TOTO：T112CL9 【T110D3R×3】	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
小便器手すり	TOTO：T112CU22 【T110D3R×4】	1	-	1	-	1	-	1	-	1	-
化粧鏡	TOTO：YM4560F	1	1	2	2	2	2	2	2	1	2
床上掃除口	CIR-50	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-
床上掃除口	CIR-80	-	1	1	-	1	-	1	-	-	-
床上掃除口	CIR-100	2	-	3	2	2	2	2	2	-	1

項 目	仕 様	多機能
自動FV式洋風便器	TOTO：CS494 【HP430-7, TEVN30UC, T56PH×2, T82CR32, TS153S】	1
タッチスイッチ	TOTO：TES47UR#BES	1
前丸便座（便蓋無）	TOTO：TC291J	1
紙巻器	TOTO：YH117	1
化粧鏡	TOTO：YM6075F	1
洗面器	TOTO：L270D 【TLE28SS1A, TL220D, TLDP2201J】	1
コンパ`外手洗器	TOTO：LSE570APR	1
跳ね上げ手摺 （樹脂被覆）	TOTO：T112HK7R 【T110D17S】	1
L型手摺 （樹脂被覆）	TOTO：T112CRS TOKU 【T110D3R×3】	1
オストメイト	TOTO：UAS81R (L) DB2N 【UTR141】	1
床上掃除口	CIR-100	-

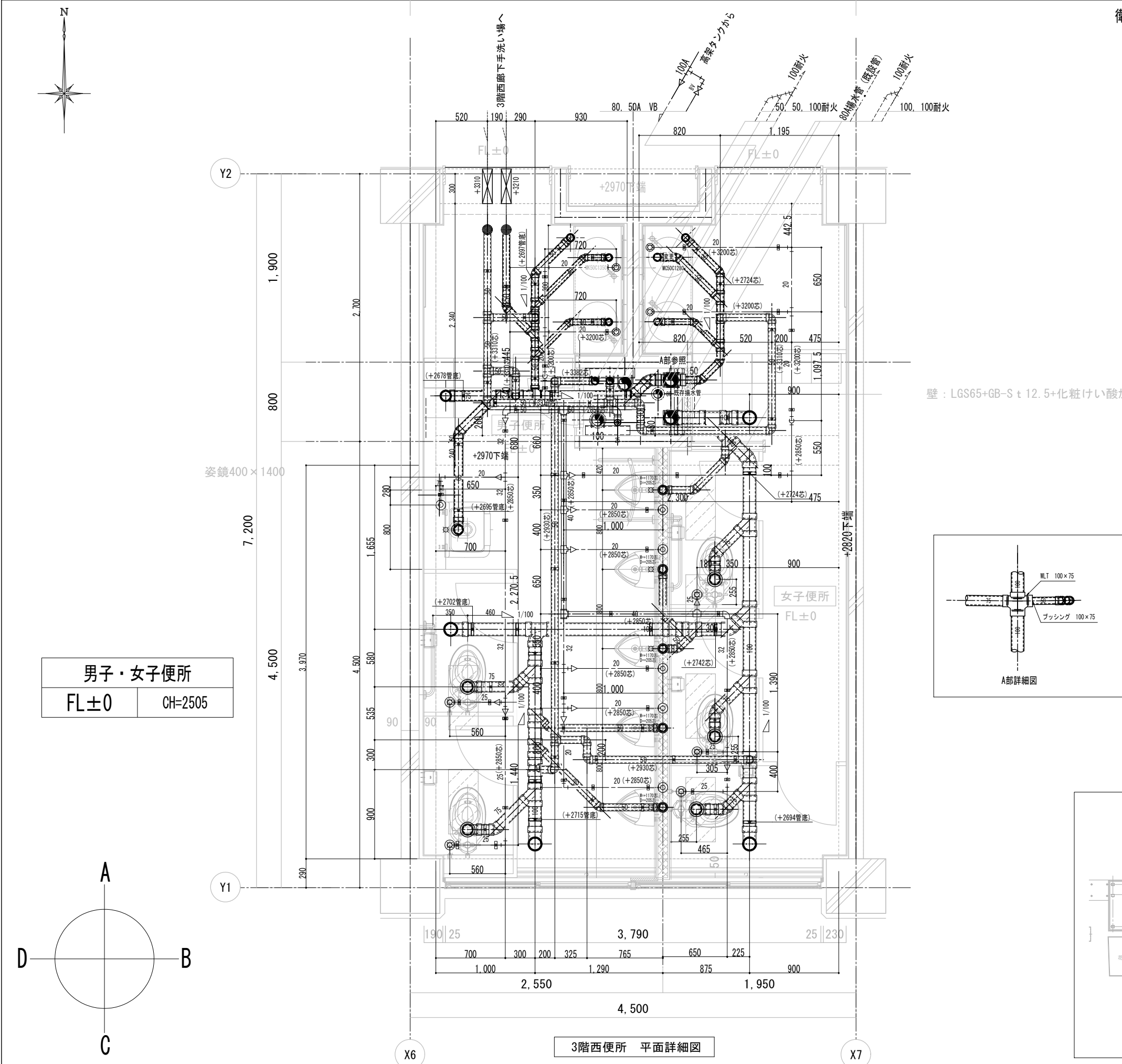
春野中学校

記号	機器名称	摘要	電源	必要処理風量	備考	個数
	標準換気扇	φ200(排気型) 窓枠据付格子タイプ 電動式シャッター	1φ100V	120m3/h	アルミパネル取付用（メーカー名：三菱電機） φ200用SUS製ウェザーカバー（防鳥網付）（型番：EX-20SC4-S）	2
	標準換気扇	φ200(排気型) 窓枠据付格子タイプ 電動式シャッター	1φ100V	351m3/h 57Pa	窓枠部にチャンバーBOX内取付（メーカー名：三菱電機） （型番：EX-20SC4-S）	6
	天井埋込換気扇	低騒音形 （プラスチックボディ）	1φ100V	123m3/h 42Pa	天吊脱着枠共（メーカー名：三菱電機） 深形フードφ150（SUS304・ガラリ・防鳥網・水切板付） （型番：VD-17ZSC13）	2
	天井埋込換気扇	低騒音形 （プラスチックボディ）	1φ100V	107m3/h 44Pa	天吊脱着枠共（メーカー名：三菱電機） 深形フードφ100（SUS304・ガラリ・防鳥網・水切板付） （型番：VD-15ZC13）	1

※静圧は参考値とする
※ウェザーカバー、深形フード共、シーリング`処理を施すこと。



- 注1）本表に示す品番は衛生器具に求める標準的な品質及び性能を例示するためのものであり、器具選定の際には監督職員の承諾を受けること。
- 注2）固定金具等について各メーカーにおける標準的な品番を例示しているが、工事では実際の壁（床）の施工方法に適合する各メーカー専用固定金具を選定すること。
- 注3）設計図面に衛生器具数量表の記載がある場合には、本表とは別途にそれらを見込むこと。
- 注4）ここに記載のない付属品についても、現場で必要な場合は、適宜選定して使用すること。



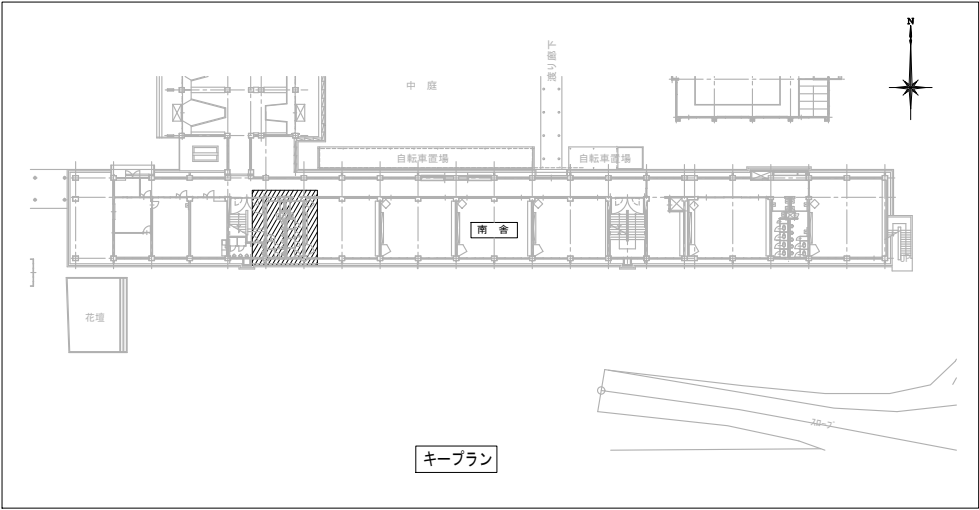
衛生器具リスト

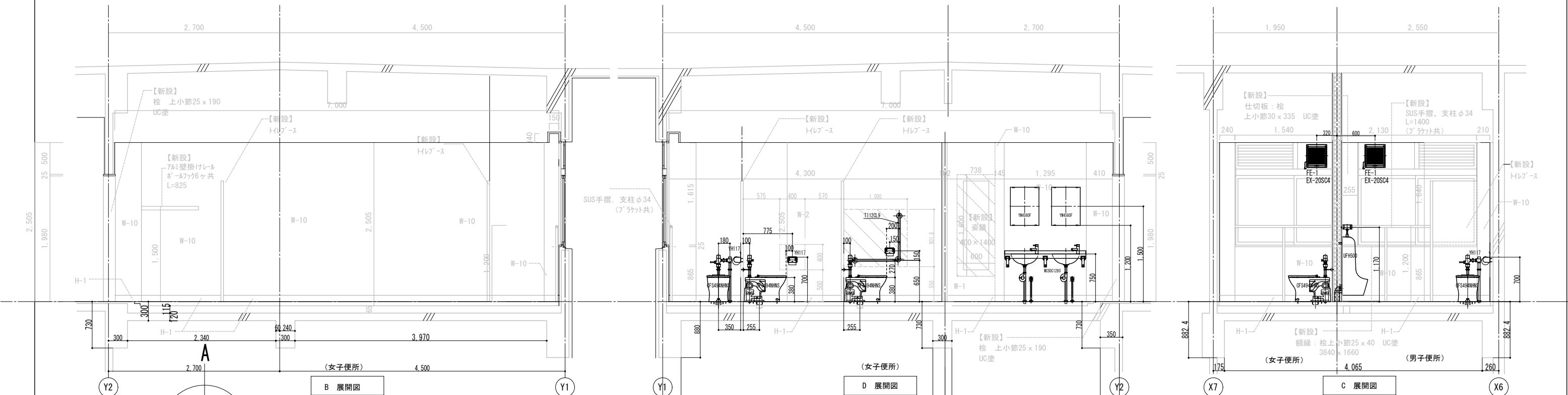
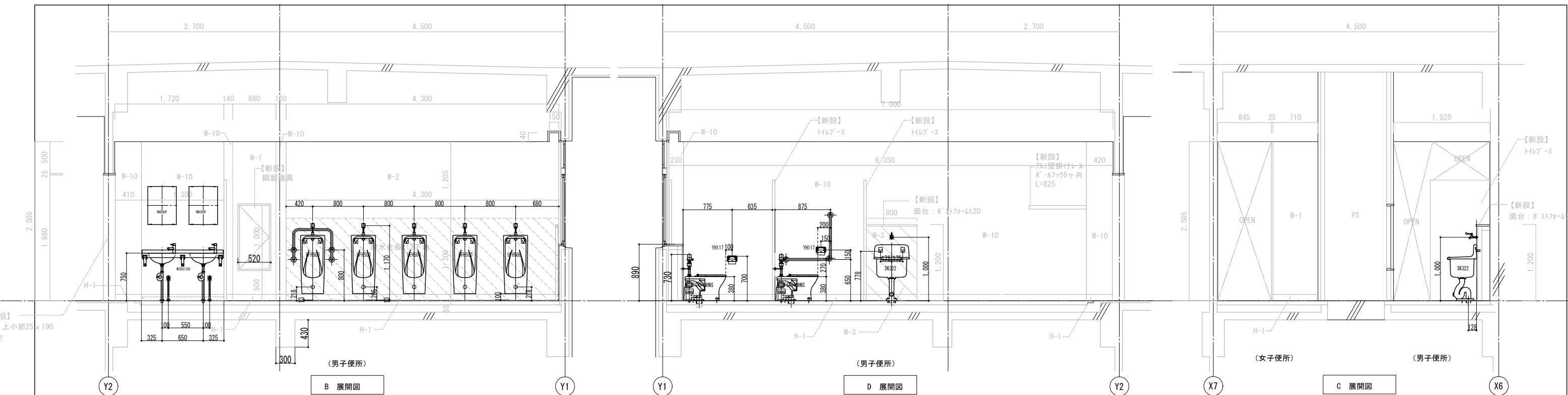
項 目	仕 様	3階西側	
		男子	女子
洋風便器 (床給水)	TOTO : CS494 【HP430-7, TV565CP, T56PH×2, T82OR32, TS153S】	2	3
前丸便座 (便蓋無)	TOTO : TC291J	2	3
紙巻器	TOTO : YH117	2	3
小便器	TOTO : UFH500 【T9R, TG600PN, HP500】	5	-
掃除流し	TOTO : SK322 【T9R, T37SGEP, TK22, T23BQ13】	1	-
カウンター洗面器	TOTO : MC50C1300 【TLC11AR×2, M357W×2, TLC4BF×2, M9P40A×3】	1	1
L型手すり	TOTO : T112CL9 【T110D3R×3】	1	1
小便器手すり	TOTO : T112CU22 【T110D3R×4】	1	-
化粧鏡	TOTO : YM4560F	2	2
床上掃除口	CIR-50	1	1
床上掃除口	CIR-80	1	-
床上掃除口	CIR-100	2	1

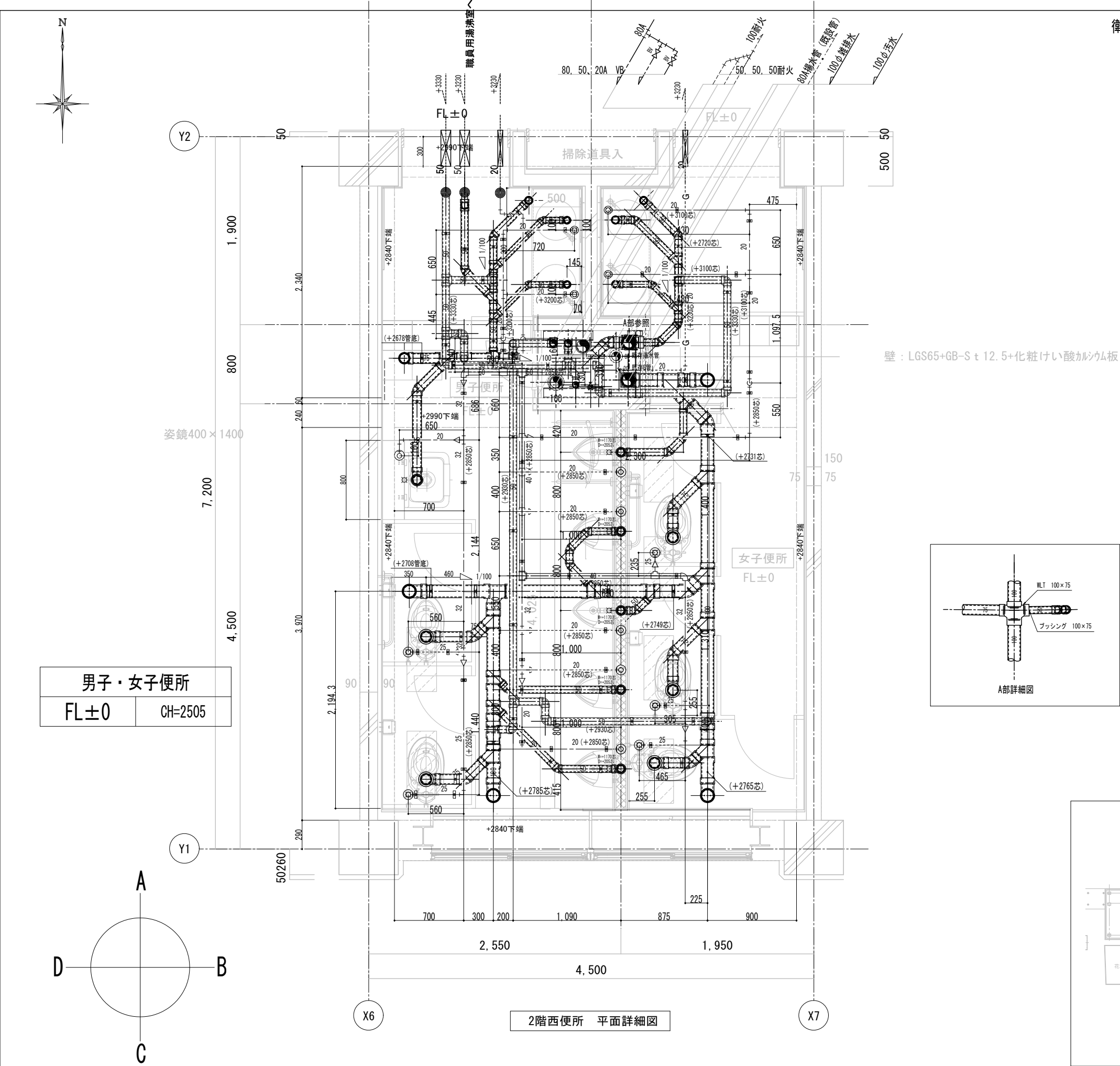
壁 : LGS65+GB-S t 12. 5+化粧けい酸カルシウム板 t 6

横走り管の吊り及び振れ止め支持間隔

		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
棒鋼吊り	銅 管 及 ステンレス鋼管	2. 0m以下										3. 0m以下			
	ビニル管、 耐火二層管及び ポリエチレン管	1. 0m以下										2. 0m以下			
	銅 管	1. 0m以下										2. 0m以下			
	鋳 鉄 管	標準図（排水用鋳鉄管の吊り要領）による。													
	ポリブデン管	0. 6 m以下	0. 7 m以下		1. 0 m以下		1. 3 m以下		1. 6 m以下	—					
	鉛 管	1. 5m以下													







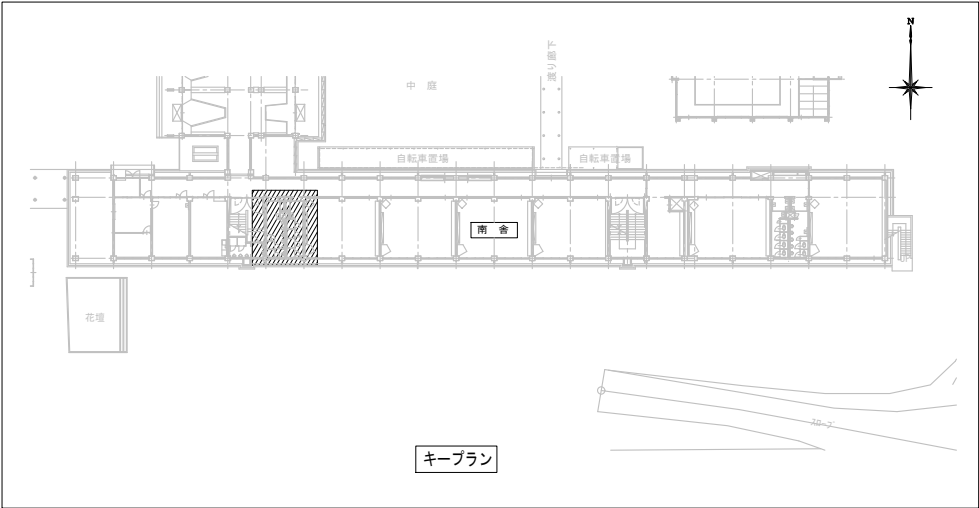
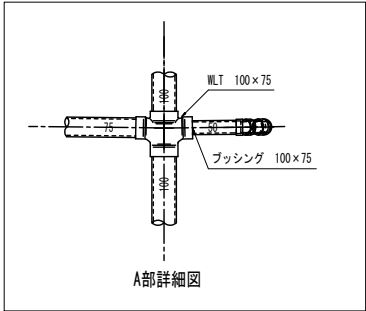
衛生器具リスト

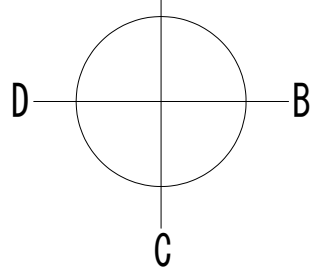
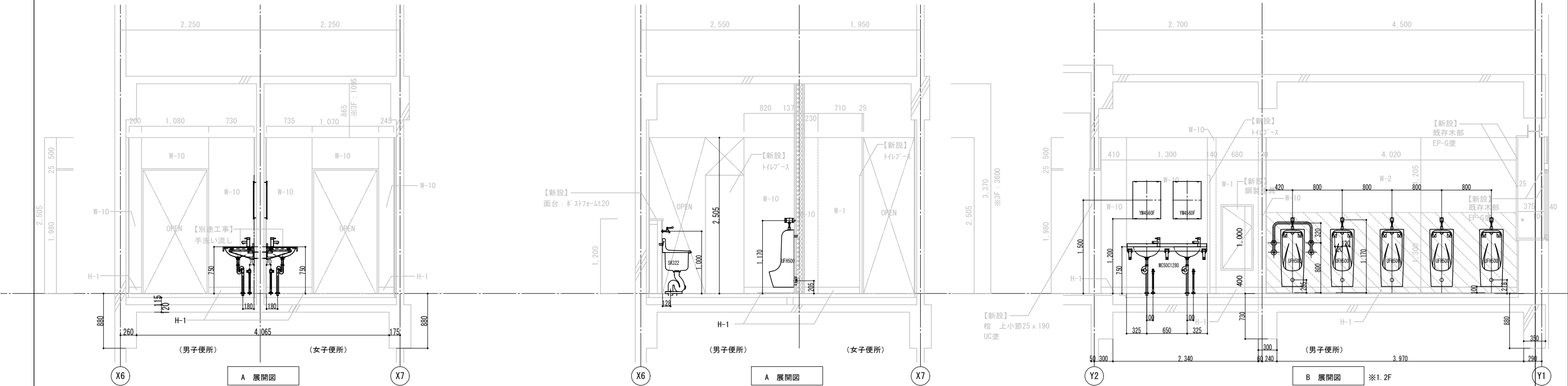
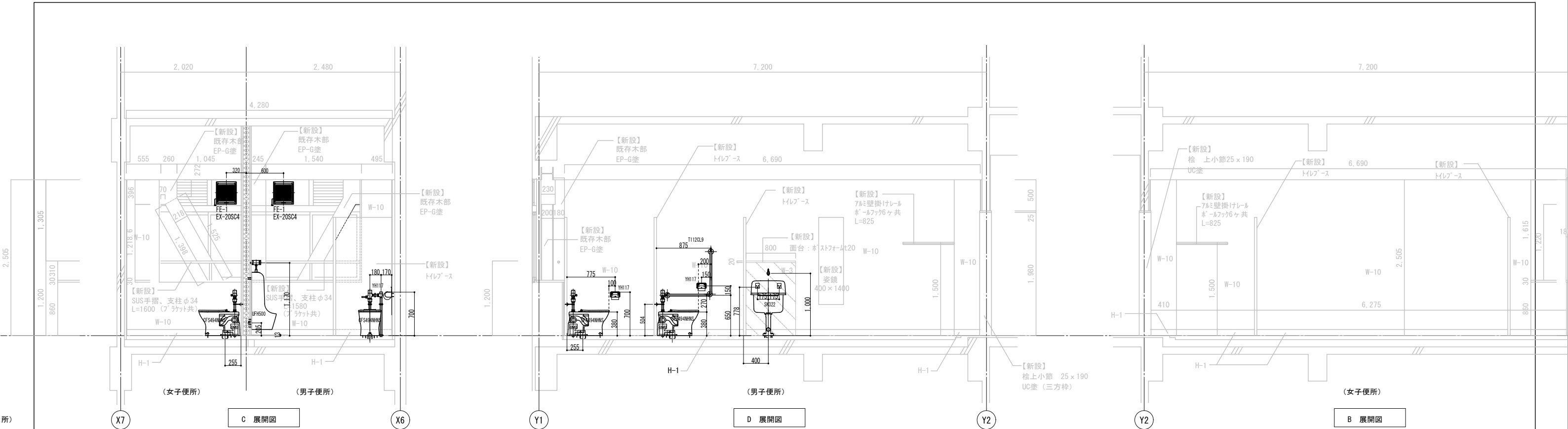
項 目	仕 様	2階西側	
		男子	女子
洋風便器 (床給水)	TOTO : CS494 【HP430-7, TV565CP, T56PH×2, T82CR32, TS153S】	2	3
前丸便座 (便蓋無)	TOTO : TC291J	2	3
紙巻器	TOTO : YH117	2	3
小便器	TOTO : UFH500 【T9R, TG600PN, HP500】	5	-
掃除流し	TOTO : SK322 【T9R, T37SGEP, TK22, T23BQ13】	1	-
カウンター洗面器	TOTO : MC50C1300 【TLC11AR×2, M357W×2, TLC4BF×2, M9P40A×3】	1	1
L型手すり	TOTO : T112CL9 【T110D3R×3】	1	1
小便器手すり	TOTO : T112CU22 【T110D3R×4】	1	-
化粧鏡	TOTO : YM4560F	2	2
床上掃除口	CIR-50	1	1
床上掃除口	CIR-80	1	-
床上掃除口	CIR-100	2	1

壁 : LGS65+GB-S t 12. 5+化粧けい酸カルシウム板 t 6

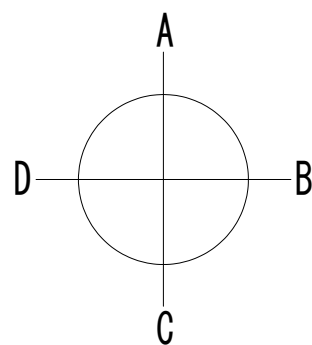
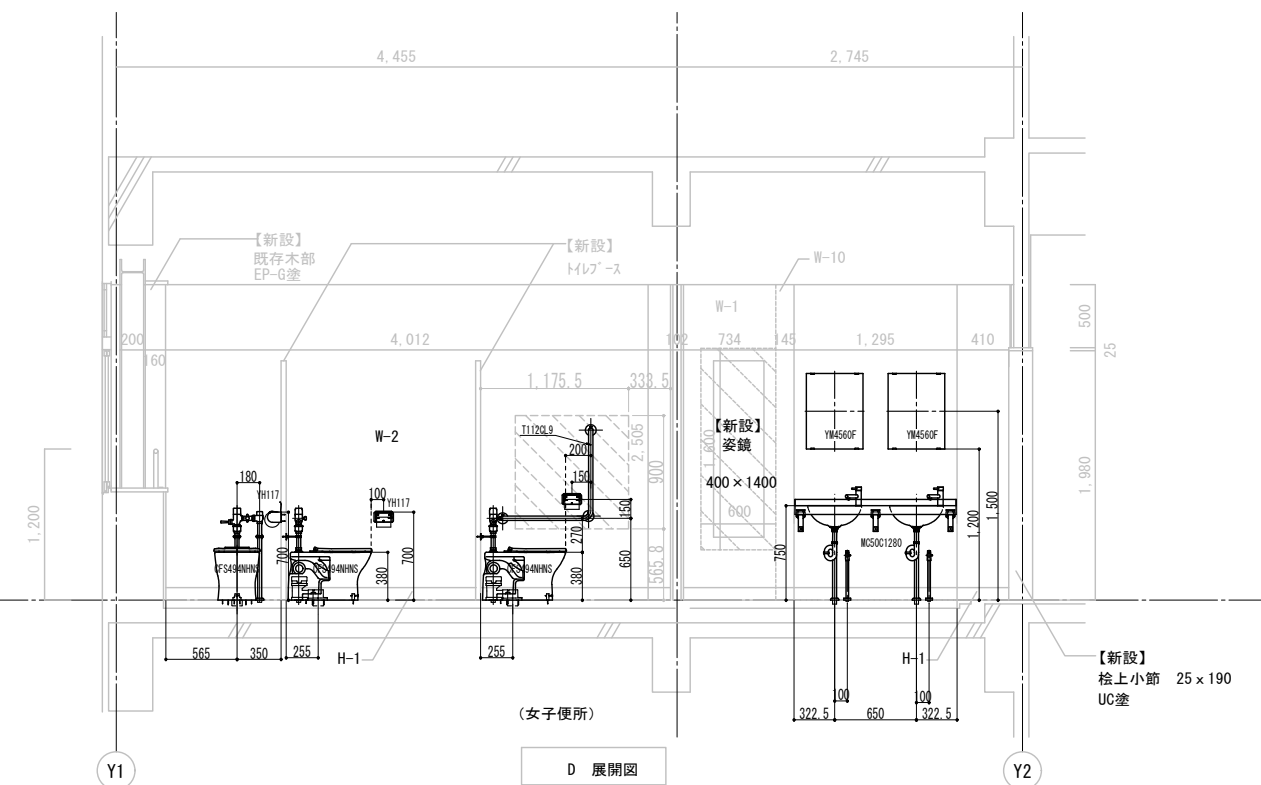
横走り管の吊り及び振れ止め支持間隔


		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
棒鋼吊り	銅 管 及 び ステンレス鋼管	2. 0m以下										3. 0m以下			
	ビニル管、 耐火二層管及び ポリエチレン管	1. 0m以下										2. 0m以下			
	銅 管	1. 0m以下										2. 0m以下			
	鋳 鉄 管	標準図（排水用鋳鉄管の吊り要領）による。													
	ポリブデン管	0. 6 m以下	0. 7 m以下		1. 0 m以下		1. 3 m以下		1. 6 m以下	—					
	鉛 管	1. 5m以下													

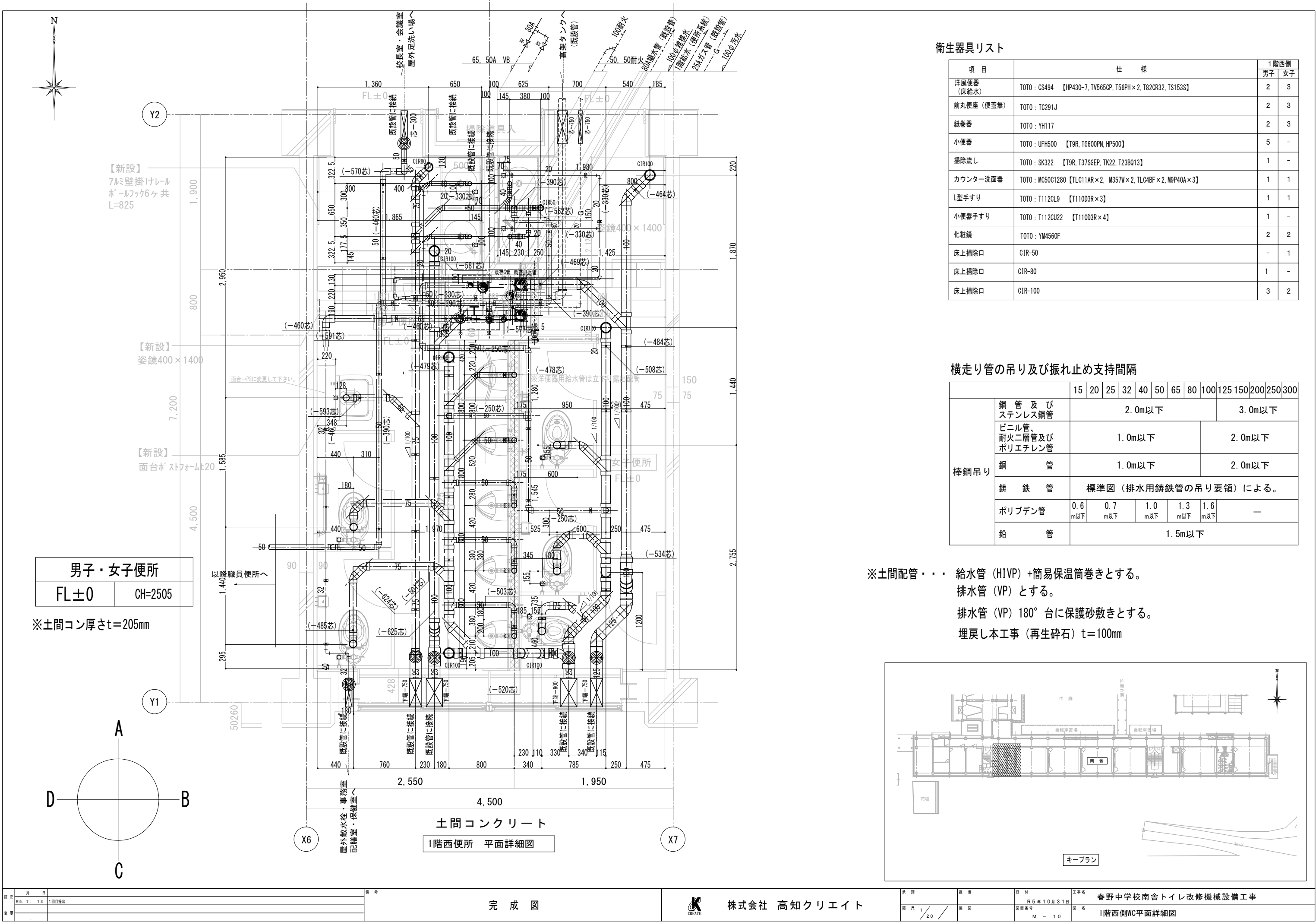




訂正	月	日	備 考	完 成 図	 株式会社 高知クリエイト	承認	担当	日付	工事名
	R5. 7. 13	1期目提出						R5年10月31日	春野中学校南舎トイレ改修機械設備工事
変更						縮 尺 1/30	製 図	図面番号	図 名
								M - 08	2階西側WC展開図



訂正	月	日	備考	 株式会社 高知クリエイト	承認	担当	日付	工事名
R5.7.13	10	10			縮尺 1/30	製図	R5年10月31日	春野中学校南舎トイレ改修機械設備工事
変更							図面番号 M - 09	図名 2階西側WC展開図

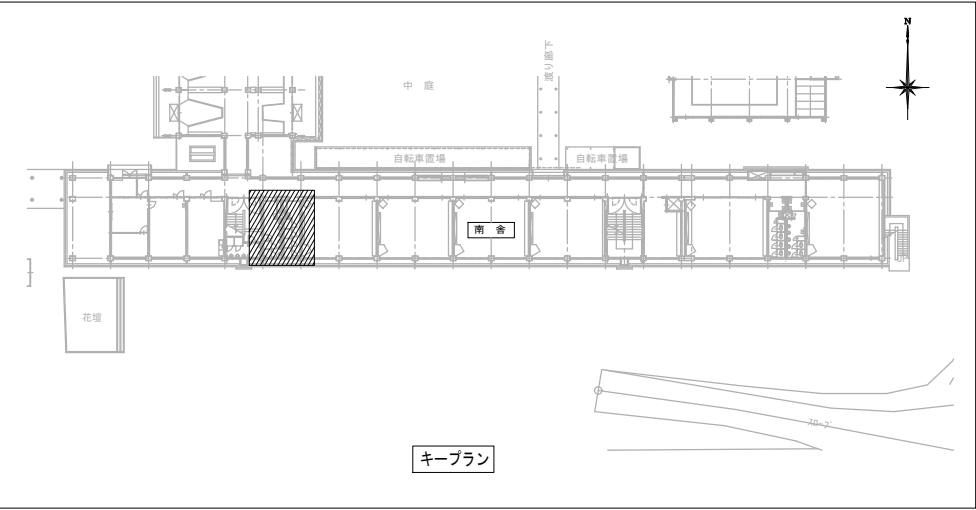


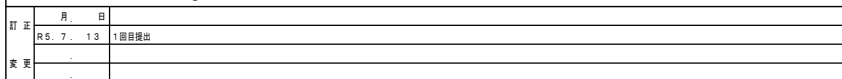
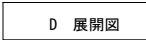
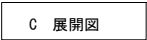
項 目	仕 様	1階西側	
		男子	女子
洋風便器 (床給水)	TOTO : CS494 【HP430-7, TV565CP, T56PH×2, T82GR32, TS153S】	2	3
前丸便座 (便蓋無)	TOTO : TC291J	2	3
紙巻器	TOTO : YH117	2	3
小便器	TOTO : UFH500 【T9R, TG600PN, HP500】	5	-
掃除流し	TOTO : SK322 【T9R, T37SGEP, TK22, T23BQ13】	1	-
カウンター洗面器	TOTO : MC50C1280 【TLC11AR×2, M357W×2, TLC4BF×2, M9P40A×3】	1	1
L型手すり	TOTO : T112CL9 【T110D3R×3】	1	1
小便器手すり	TOTO : T112CU22 【T110D3R×4】	1	-
化粧鏡	TOTO : YM4560F	2	2
床上掃除口	CIR-50	-	1
床上掃除口	CIR-80	1	-
床上掃除口	CIR-100	3	2

横走り管の吊り及び振れ止め支持間隔

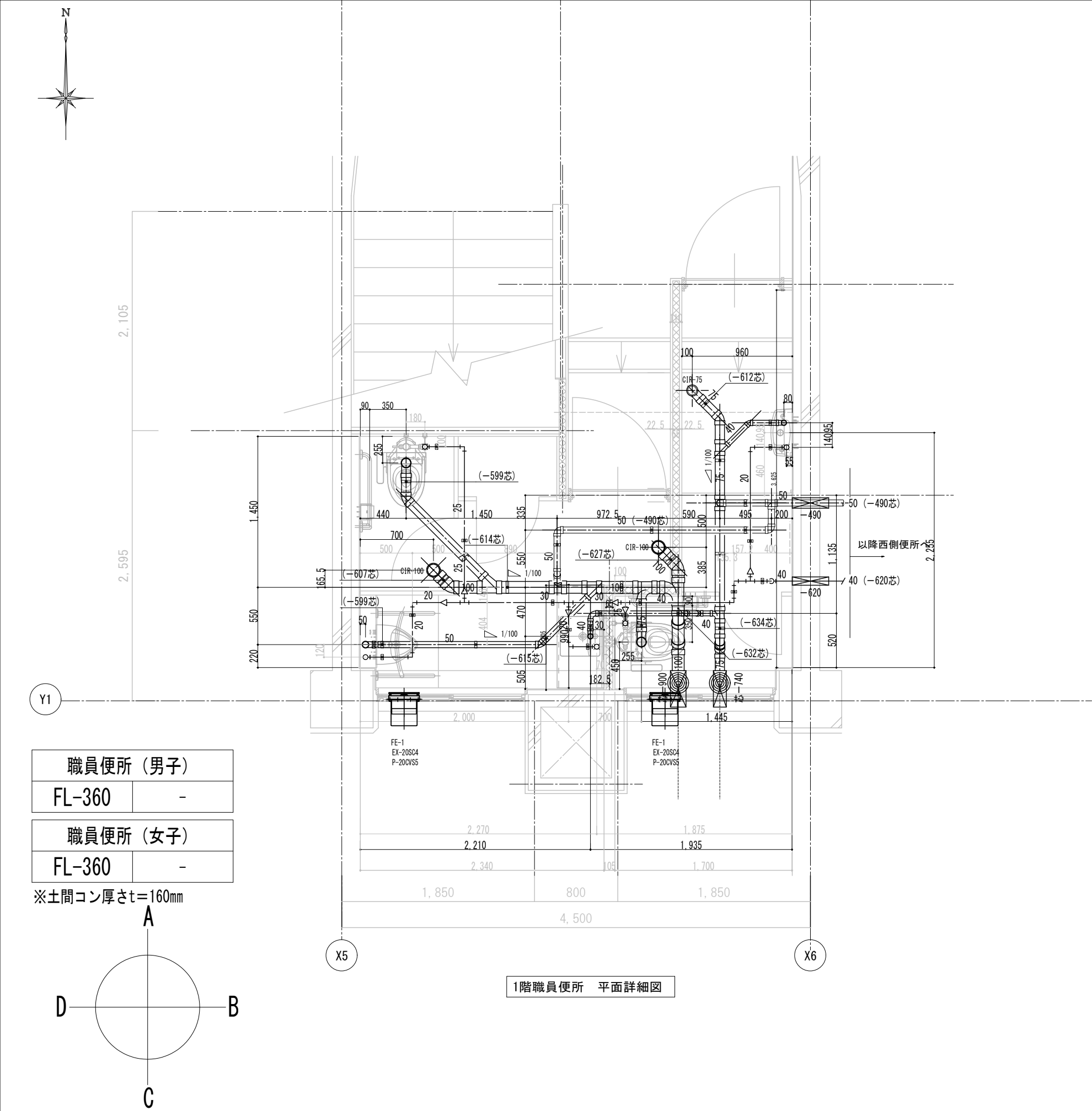
		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
棒鋼吊り	銅 管 及 び ステンレス銅管	2. 0m以下										3. 0m以下			
	ビニル管、 耐火二層管及び ポリエチレン管	1. 0m以下								2. 0m以下					
	銅 管	1. 0m以下								2. 0m以下					
	鋳 鉄 管	標準図（排水用鋳鉄管の吊り要領）による。													
	ポリブデン管	0. 6 m以下	0. 7 m以下		1. 0 m以下		1. 3 m以下		1. 6 m以下	—					
	鉛 管	1. 5m以下													

※土間配管・・・給水管（HIVP）+簡易保温筒巻きとする。
排水管（VP）とする。
排水管（VP）180° 台に保護砂敷きとする。
埋戻し本工事（再生碎石）t=100mm





承 取	組 当	日 付 R 5 年 1 0 月 3 1 日	工 事 名 春野中学校南舎トイレ改修機械設備工事
縮 尺 1 / 3 0	製 図	図 面 番 号 M - 1 2	図 名 1階西側WC展開図



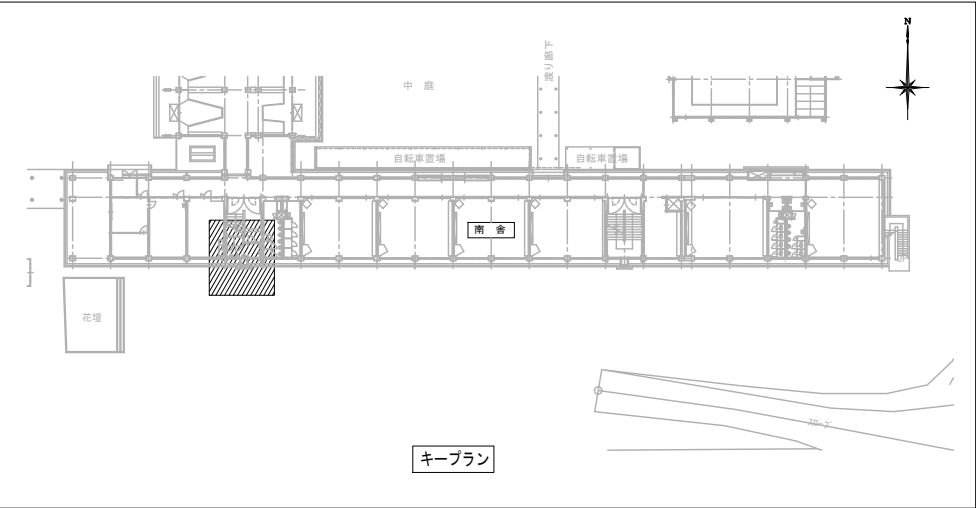
衛生器具リスト

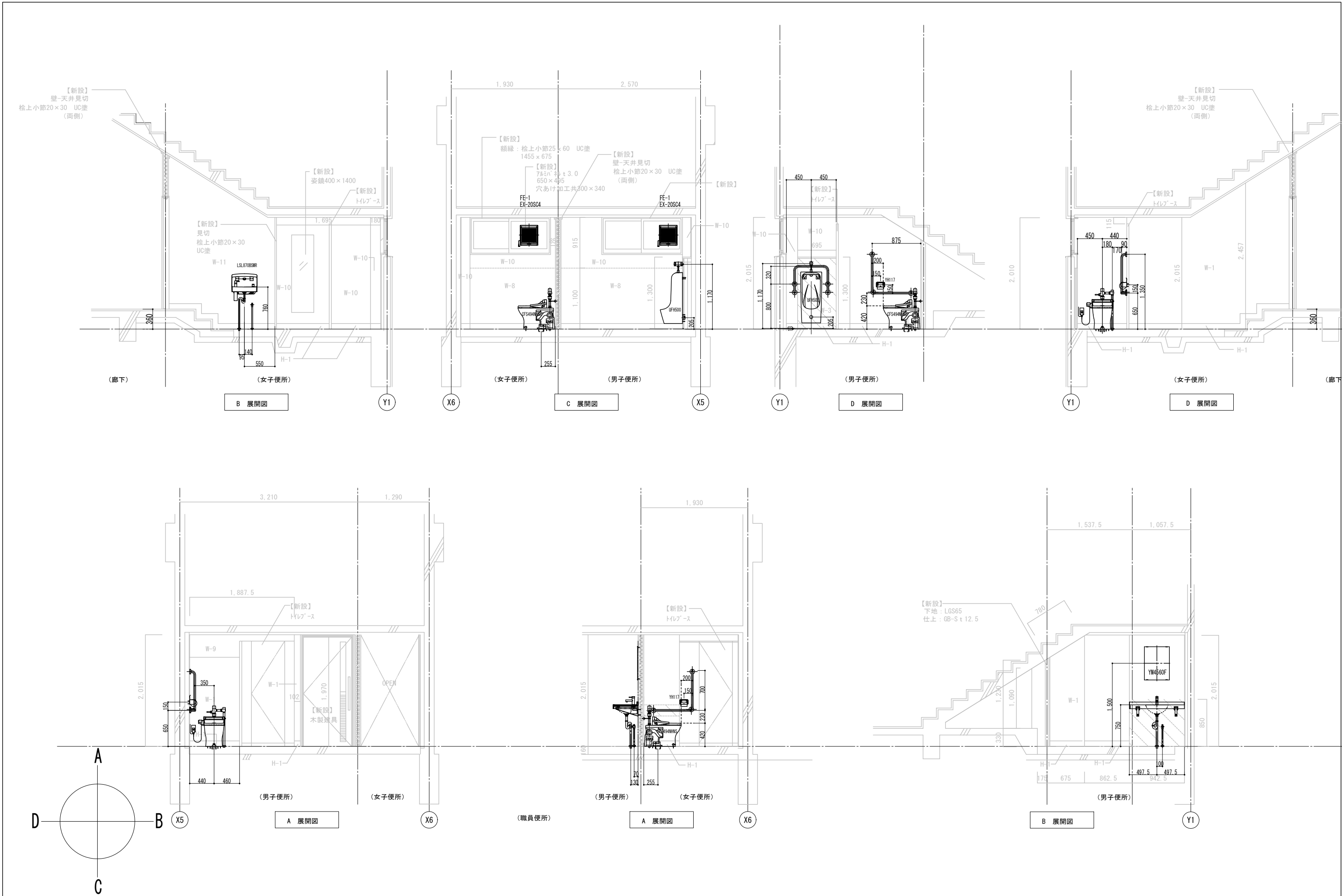
項目	仕様	1階職員	
		男子	女子
洋風便器 (床給水)	TOTO : CS494 【HP430-7, TV565CP, T56PH×2, T82CR32, TS153S】	1	1
洗浄便座	TOTO : TCF588Y	1	1
紙巻器	TOTO : YH117	1	1
小便器	TOTO : UFH500 【T9R, TG600PN, HP500】	1	-
カウンター洗面器	TOTO : MK45L990 【TLC11AR×1, M357W×1, TLC4BF×1, M9P40A×2】	1	-
コンパクト手洗器	TOTO : LSL870BSM	-	1
L型手すり	TOTO : T112CL9 【T110D3R×3】	1	1
小便器手すり	TOTO : T112CU22 【T110D3R×4】	1	-
化粧鏡	TOTO : YM4560F	1	1
床上掃除口	CIR-80	-	1
床上掃除口	CIR-100	2	-

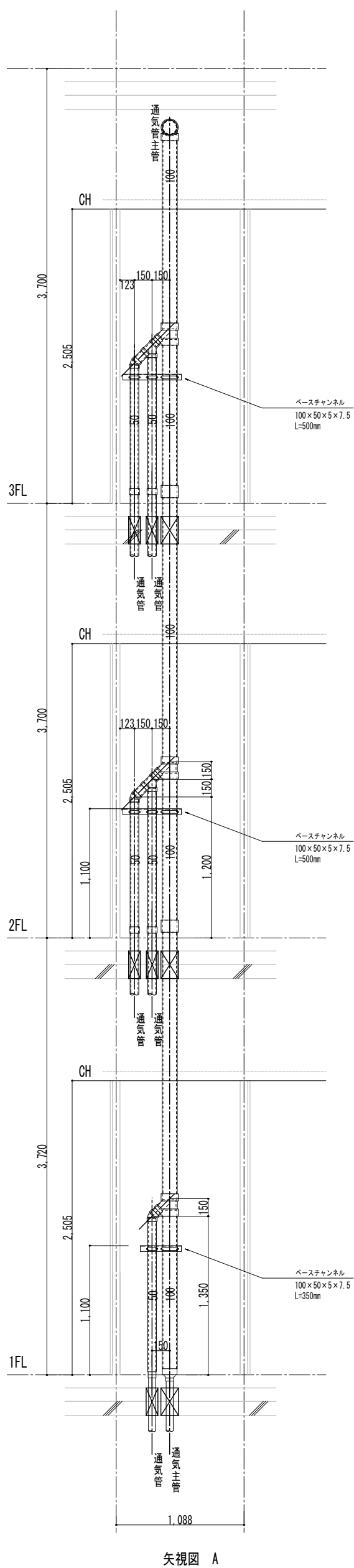
横走り管の吊り及び振れ止め支持間隔

		15	20	25	32	40	50	65	80	100	125	150	200	250	300
棒鋼吊り	銅 管 及 び ステンレス鋼管	2. 0m以下									3. 0m以下				
	ビニル管、 耐火二層管及び ポリエチレン管	1. 0m以下						2. 0m以下							
	銅 管	1. 0m以下						2. 0m以下							
	鋳 鉄 管	標準図（排水用鋳鉄管の吊り要領）による。													
	ポリブデン管	0. 6 m以下	0. 7 m以下		1. 0 m以下		1. 3 m以下		1. 6 m以下		—				
	鉛 管	1. 5m以下													

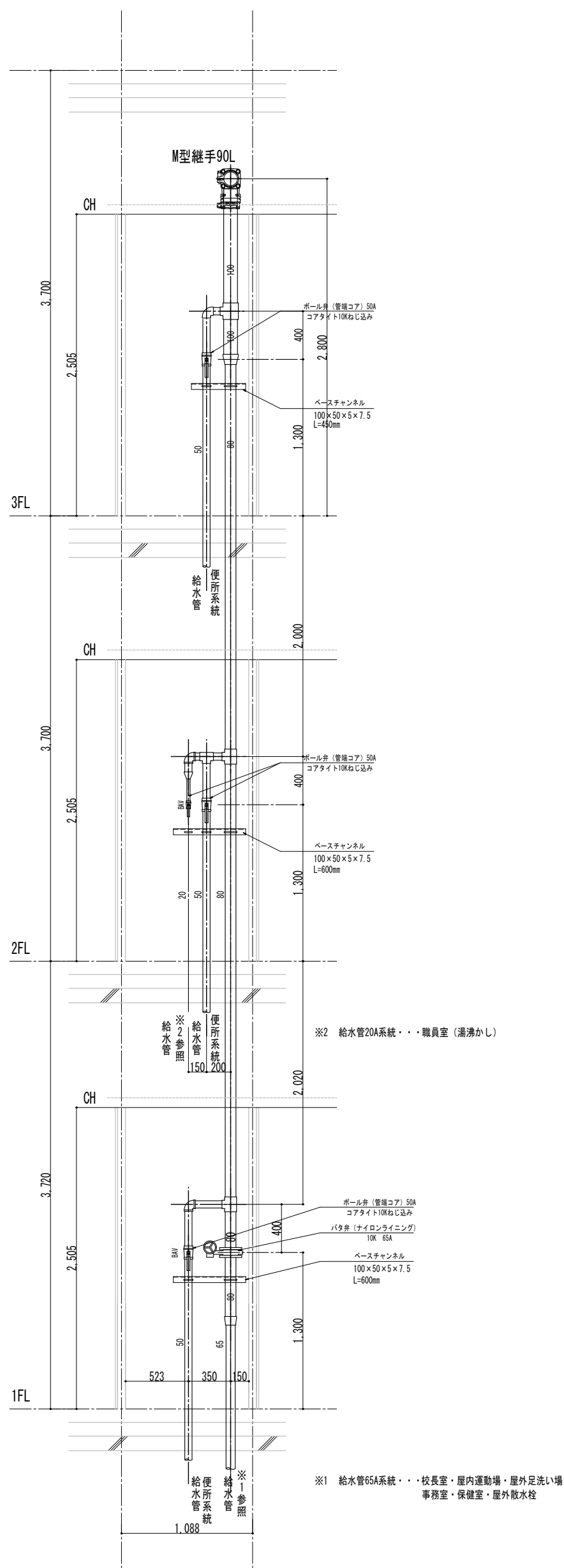
※土間配管・・・給水管（HIVP）+簡易保温筒巻きとする。
排水管（VP）とする。
排水管（VP）180° 台に保護砂敷きとする。
埋戻し本工事（再生碎石）t=100mm







矢視図 C



矢視図 C

